E763Z143H50

MITSUBISHI

ＬＥＤブラケット（防雨形）

形名　EL-V401L/K25
EL-V401L/S25

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございます。

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくためこの「取扱説明書」を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.　No servicing is available outside of Japan.

取扱説明書

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告　⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

■お客様自身で分解・改造はしない。火災・感電の原因
■異常時は電源スイッチを切る。
煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る。
■器具のすき間に金属類を差し込まない。火災・感電の原因
■器具を布や紙などで覆わない。
可燃物をかぶせて使うと火災の原因

⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■高温（３５℃を超える）な場所で使わない。
落下・感電・火災の原因
■光を直視しない。（長時間直視すると目を痛める原因）
■お客様自身で電気工事はしない。
電気工事士の資格が必要です。　感電の原因

お手入れ

⚠ 注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

＜カバーのお手入れについて＞
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等、柔らかい布で拭いてください。
●安全にご使用いただくために、半年に一回の保守・点検をおこなってください。

⚠ 安全に関するご注意

～～照明器具の寿命について～～

■照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
■周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
■点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

仕様

定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
１００Ｖ	５０／６０Ｈｚ	０．１７Ａ	１０．２Ｗ

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より 1 年間です。ただし、点灯回路は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

お願い

■LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
■LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
■照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
■器具毎に壁面照射部の色見が異なる場合があります。ご了承ください。

アフターサービスについて

■修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター　TEL(03)3424－1111　東京都世田谷区池尻 3-10-3
西日本フロントセンター　TEL(06)6454－3901　大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル (0120)56－8634

■その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター（フリーコール）
FAX (0120)139－365
東京都世田谷区池尻 3-10-3

製造元　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒２４７－００５６　神奈川県鎌倉市大船２－１４－４０
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41－2729　FAX(0467)41－2786

施工説明書

■電気工事には電気工事士の資格が必要です。

施工者さまへ

■施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告　⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

■施工は、電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従って行う。

■取付面に凹凸がある場合は、パテなどで凹凸をなくす。電源線の引込口から水が入らないように施工する。凹凸のままの場合は、絶縁不良により感電・火災の原因

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■次のような場所に取付けない。落下・感電・火災の原因
・高温（３５℃を超える）の場所・強い振動、衝撃のある場所

■電源は交流１００Ｖ以外の電圧で使わない。過電圧を印加した場合、火災の原因

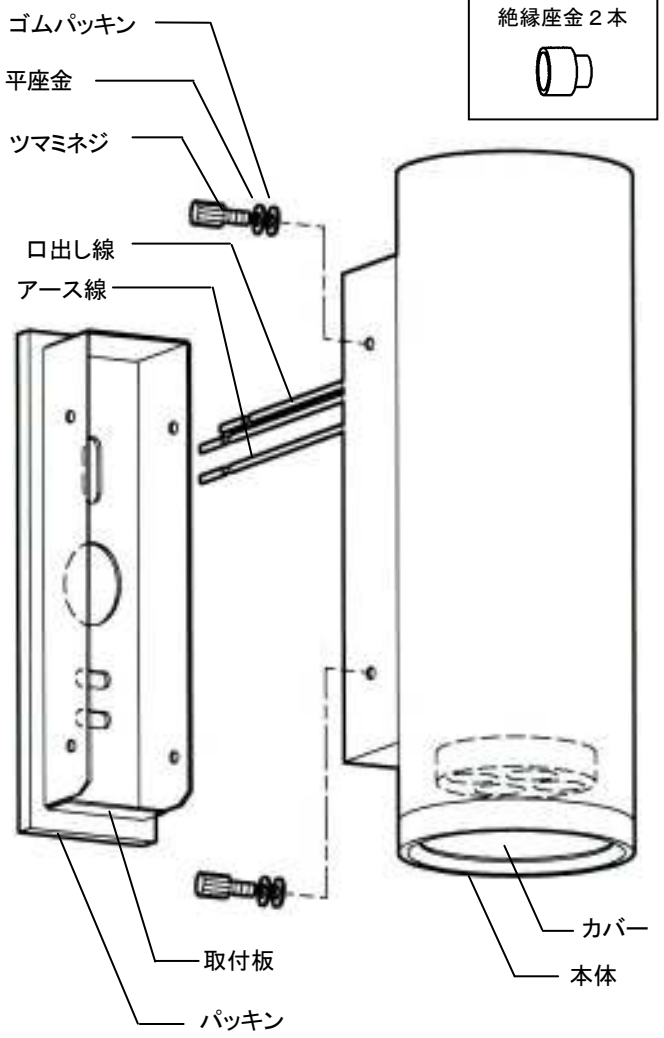
■風呂場など、水や湿気の多い場所で使わない。

■調光器（ライトコントローラー）との併用はできません。破損・不点の原因

■ドアの開閉で当たる部分に照明器具をつけない。破損して落下の原因

各部のなまえ

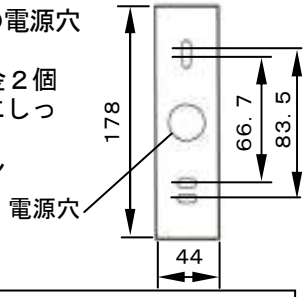
附属品
木ねじ２本
絶縁座金２本



（この図は、一部省略、抽象化してあります。）

電気工事　⚠注意　電源を切ってください。　感電の原因

1．電源線をパッキンと取付板の電源穴から通してください。
2．附属の木ねじ２本と絶縁座金２個で取付板を補強された壁面にしっかりと取付けてください。
●取付面の開口部は本体パッキンよりも小さくする。

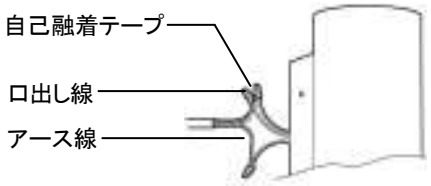


⚠注意

■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。落下の原因

■指定方向以外の向きに器具を取り付けない。感電・火災の原因

3．圧着端子・スリーブ等を用いて、口出し線と接続してください。接続部は自己融着テープ等で防水性のある絶縁被覆処理を確実に施してください。



適合電線は、単線φ1．6、φ2．0

4．アース工事を確実に行なってください。

⚠警告

■接続が不完全な場合　感電・火災の原因

■電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。接続不良による発熱で火災の原因

■アース工事を確実に行なう。感電・火災の原因
Ｄ種（第３種）接地工事が必要です。

5．本体をツマミネジ、平座金、ゴムパッキン各４個で取付板に確実に固定してください。

⚠注意

■器具取付けの際は、電源線を挟まない。感電・火災の原因